

2017 年度入学時アンケートの結果（報告）

IR センター／FD 委員会

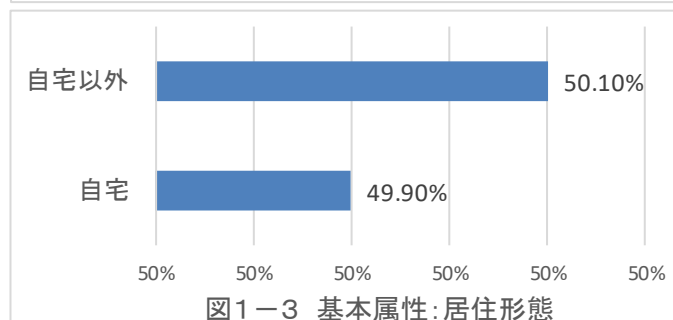
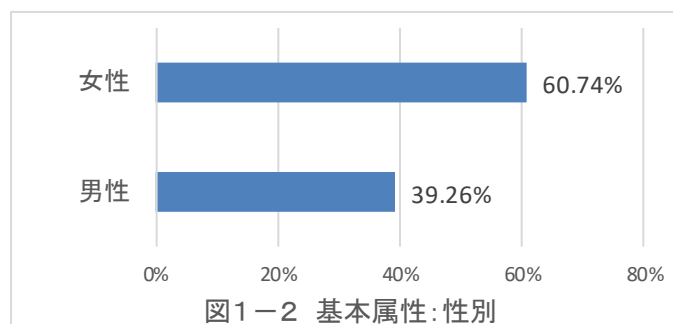
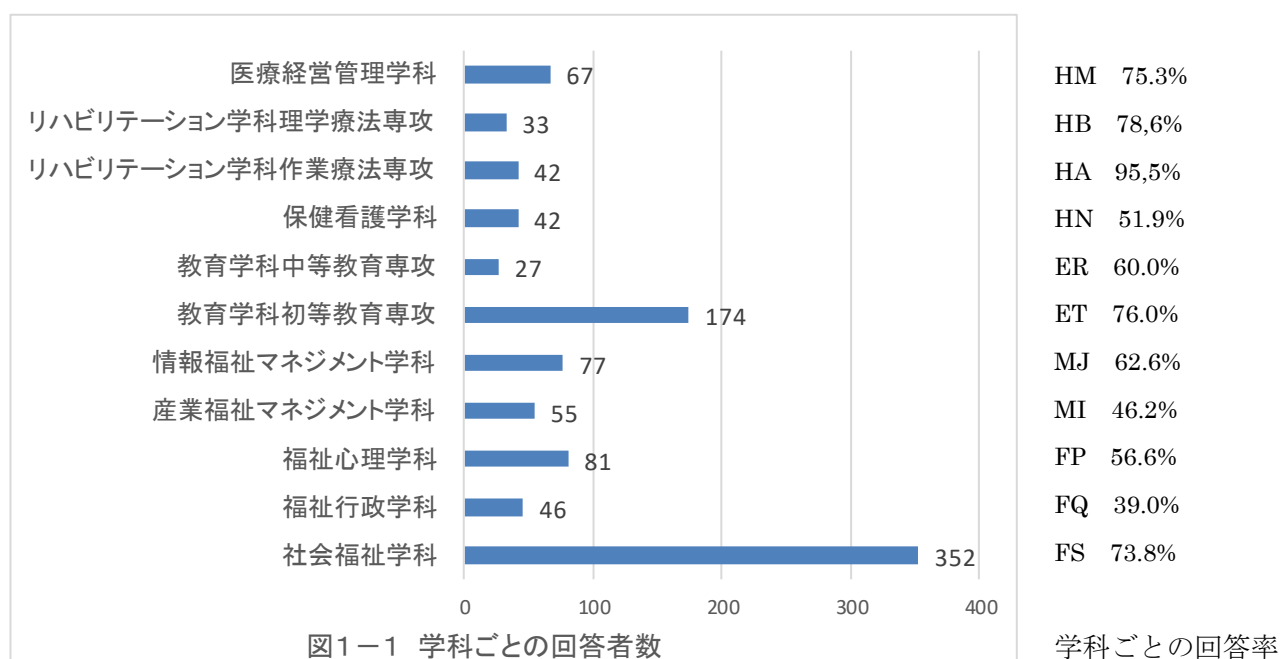
I. アンケートの概要

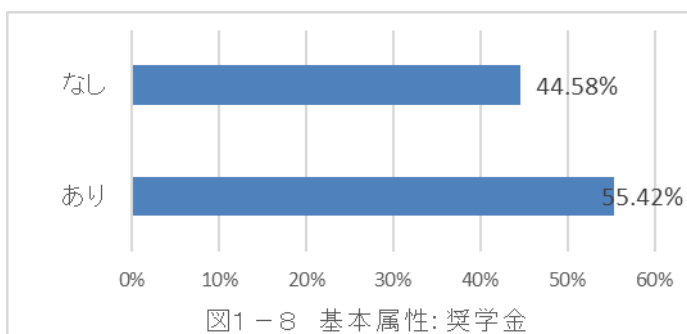
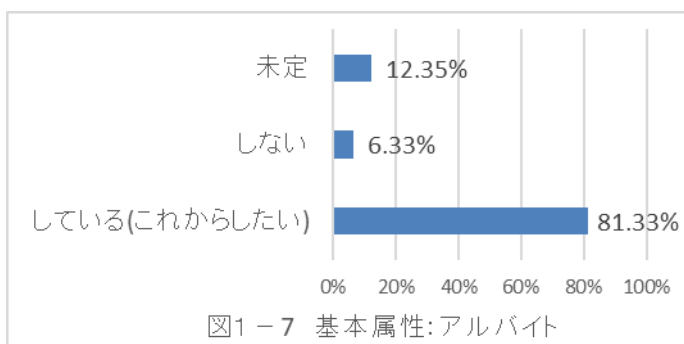
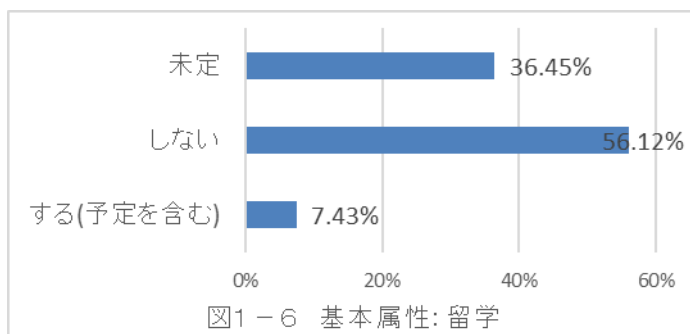
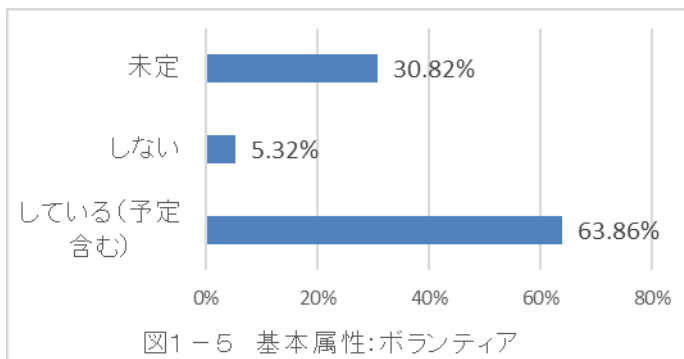
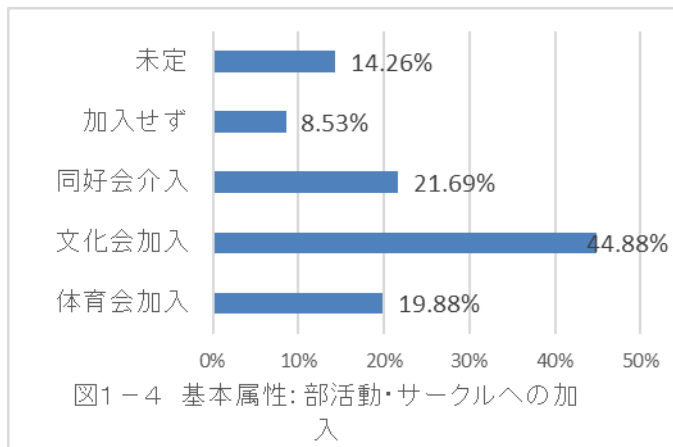
2017 年 5 月に 1 年生を対象にユニパのアンケート機能を用いて実施した。アンケートは、回答者の属性、入学前の大学選びに関する項目(オープンキャンパスへの参加、本学の入学目的、本学の志望順位、併願先の大学、入学前レポート課題の難易度等)、入学後の大学生活に関する項目(大学満足度、現在の学生生活の不安、学科の 3 ポリシーの評価等)により構成されている。996 名の回答が得られた（回答率 65.5%）。

II. 全体の傾向

1. 基本属性

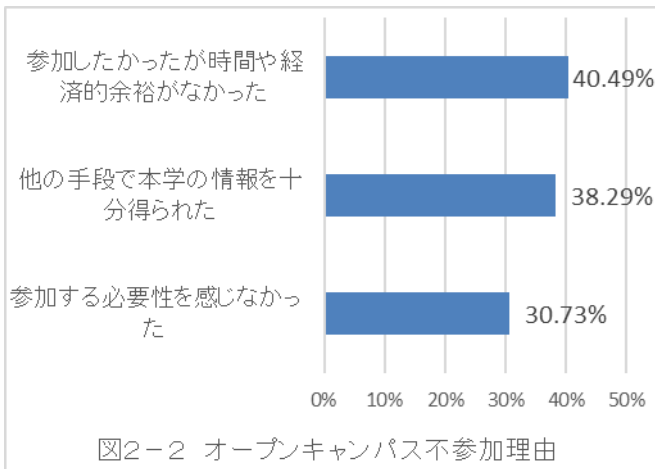
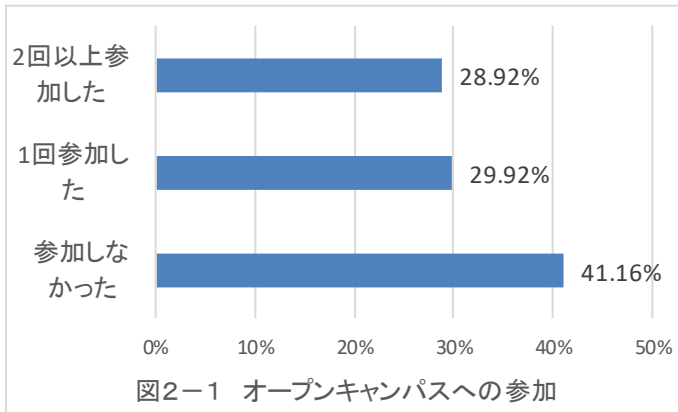
回答者の学科、性別、居住形態、部活動・サークルへの参加、ボランティア意向、留学意向、アルバイト意向、奨学金の有無について、図 1-1 から図 1-8 に示す。



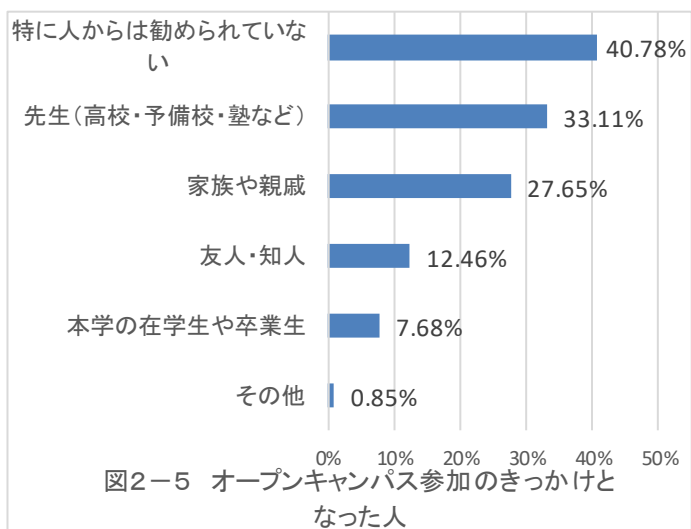
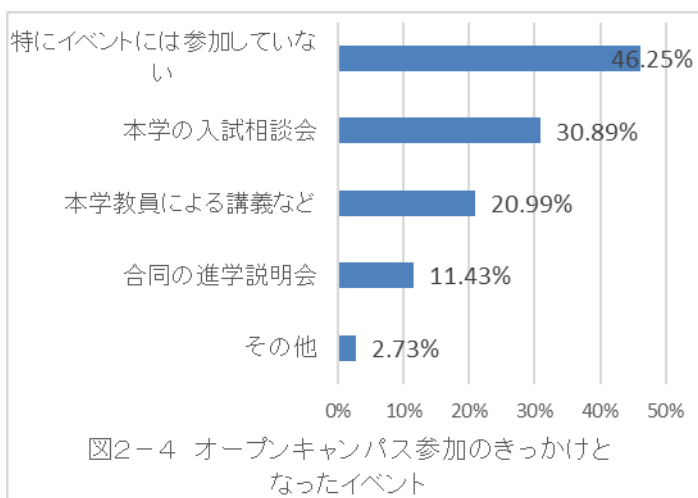
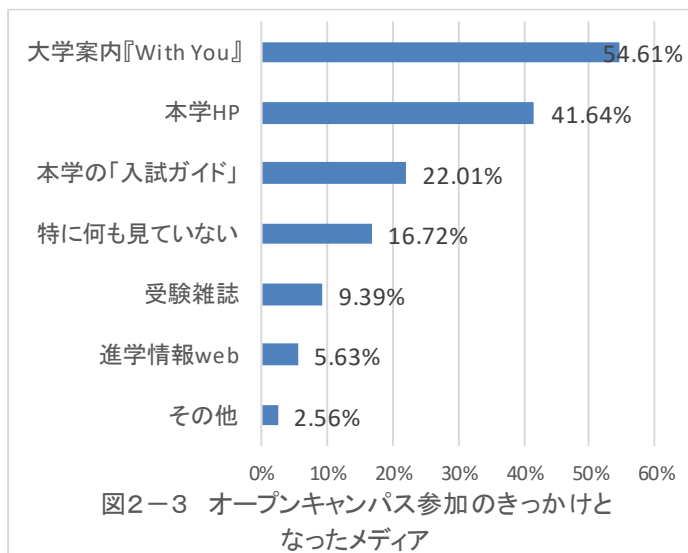


2. オープンキャンパス

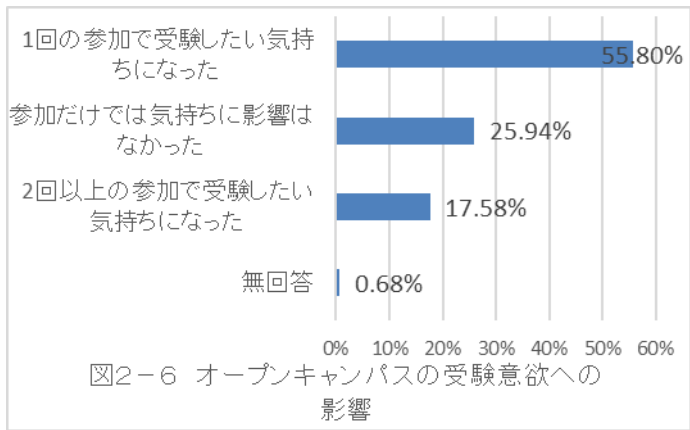
オープンキャンパスへの参加状況について図2-1に、参加しなかった者の不参加理由を図2-2に示す。



参加した者に対して、参加のきっかけとなったメディア・イベント・人からの勧めについて聞いた結果を図2-3～図2-5に示す。きっかけとなったメディアとして「With You」「本学 HP」など、本学が直接発信するものがきっかけとなっていることが示された。

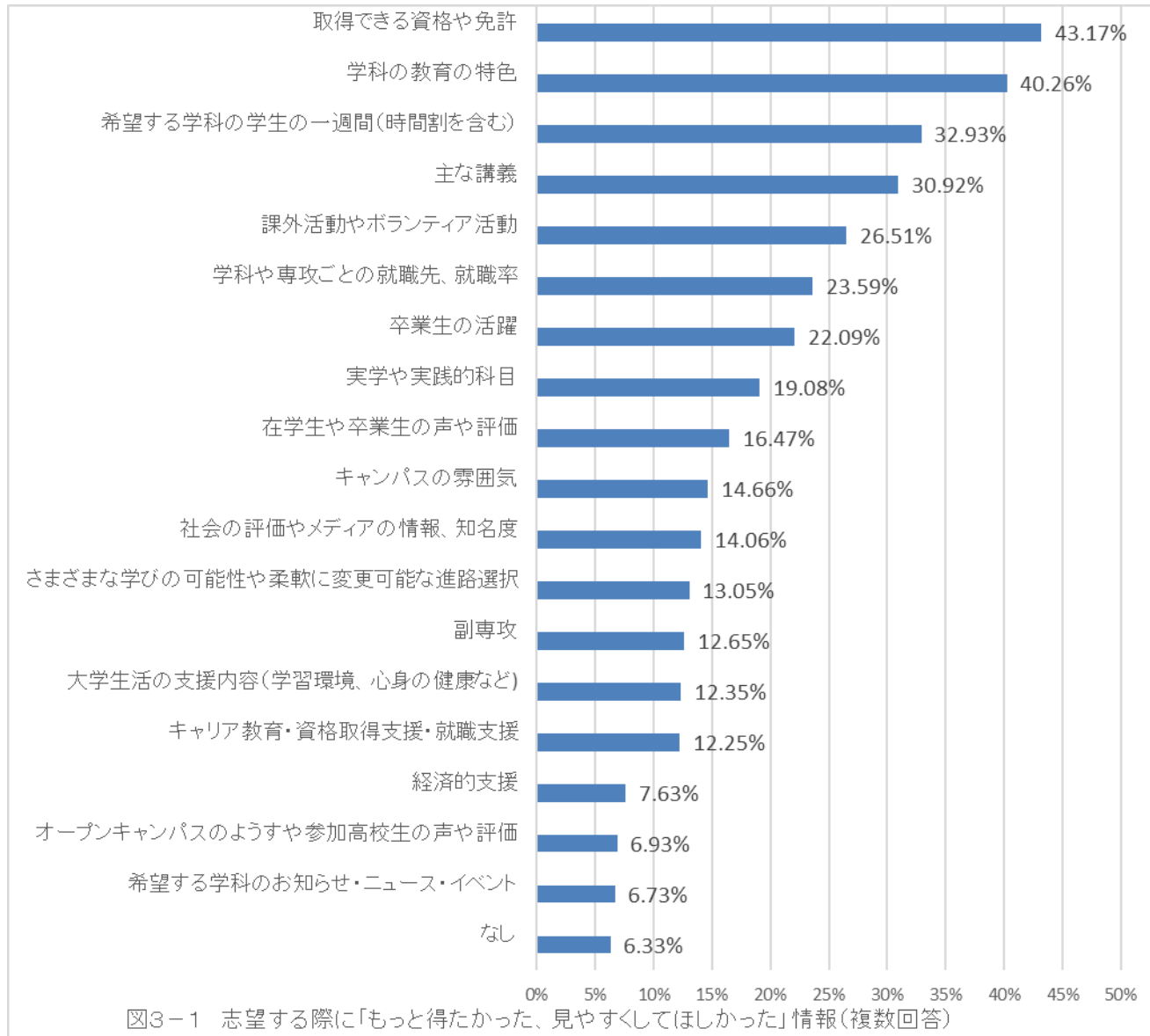


オープンキャンパスの受験意欲への影響を図2-6に示す。参加者の7割弱は肯定的な影響を受けていることが示された。

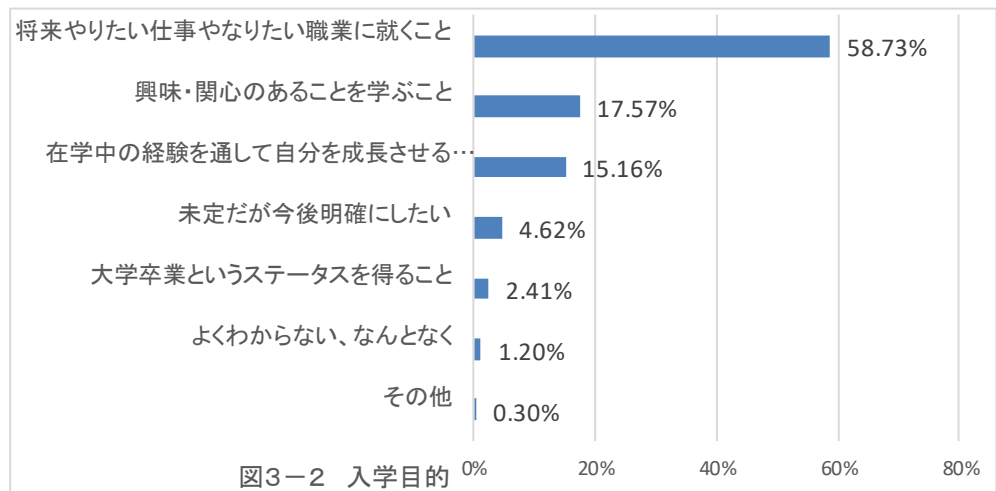


3. 本学の志望について

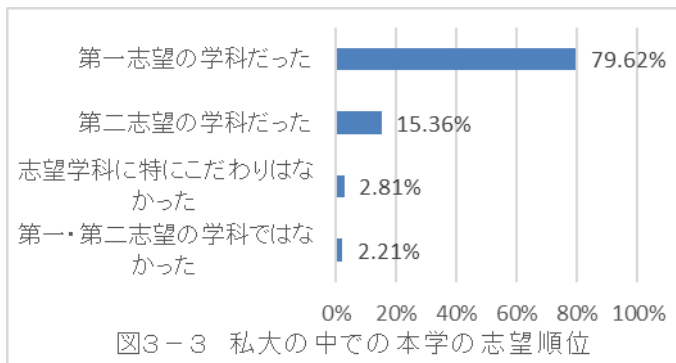
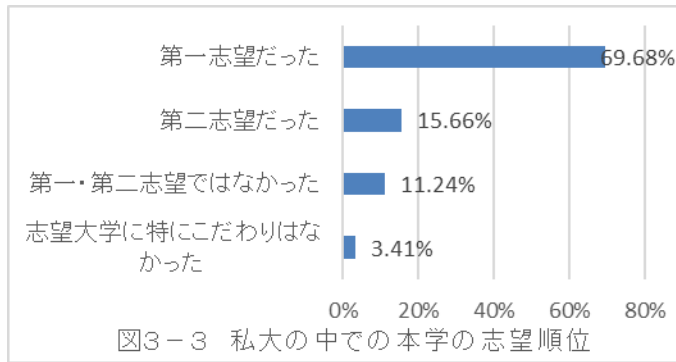
本学を志望大学として選ぶにあたって「もっと情報を得たい・情報を掲載してほしい、あるいはもっと見やすくしてほしい・注目しやすくしてほしい」と感じた項目について図3-1にまとめた。上位となった項目は「資格・免許」「学科の教育の特色」「学科の学生の1週間」「主な講義」であり、「入学した後に何を得られるか」「入学した後に自分が具体的にどんなことをするか」ということをより知りたいと感じていることが示された。



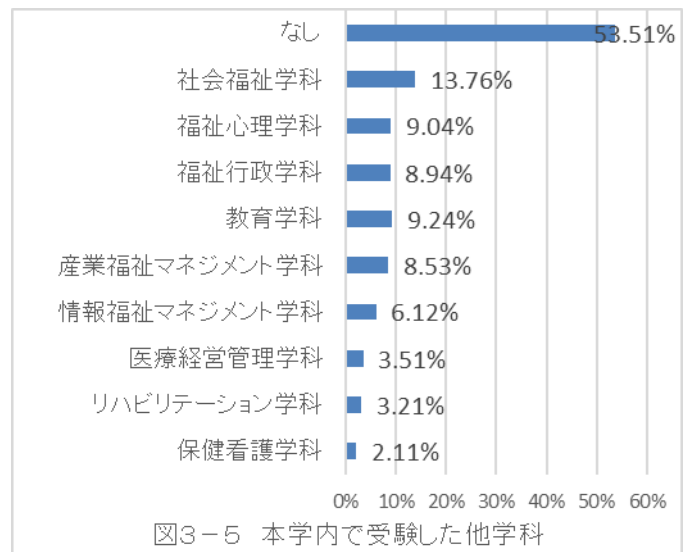
本学への入学目的を図3-2に示す。この項目は最も当てはまるものを1つ選ぶ形式で回答を求めているが、「将来やりたい仕事やなりたい職業に就くこと」が最も多く、自身の目標を定めて入学している者が多いことが示された。



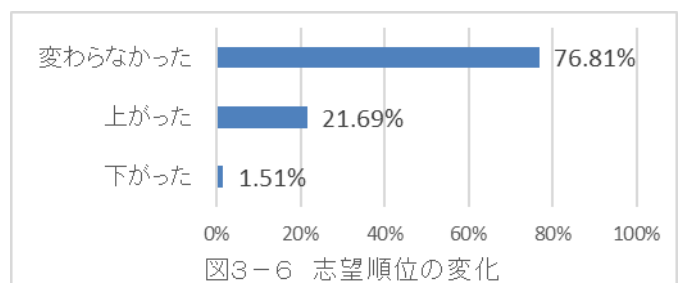
本学の私立大学の中での志望順位を図3-3、本学の中での入学した学科の志望順位を図3-4に示す。共に第一志望が最も多かった。

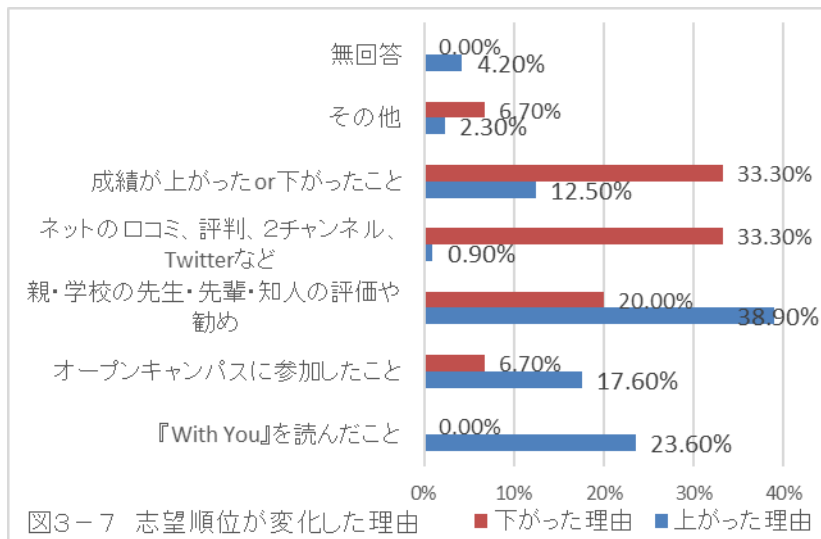


入学した学科以外に、受験した学科を図3-5に示す。単願もしくは同一の学科を複数回受験したというのが半数以上であったが、併願先としては社会福祉学科が最も多いことが示された。

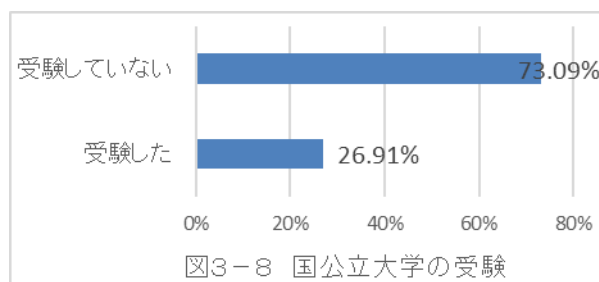


本学の志望順位の変化を図3-6、変化した理由を図3-7に示す。志望順位が下がったものはごく少数であったが、その理由としては「成績の変化」「ネットでの評判」が挙げられた。また「With You」は順位が上がった理由でのみ取り上げられ、下がった理由としてはあげられなかった。



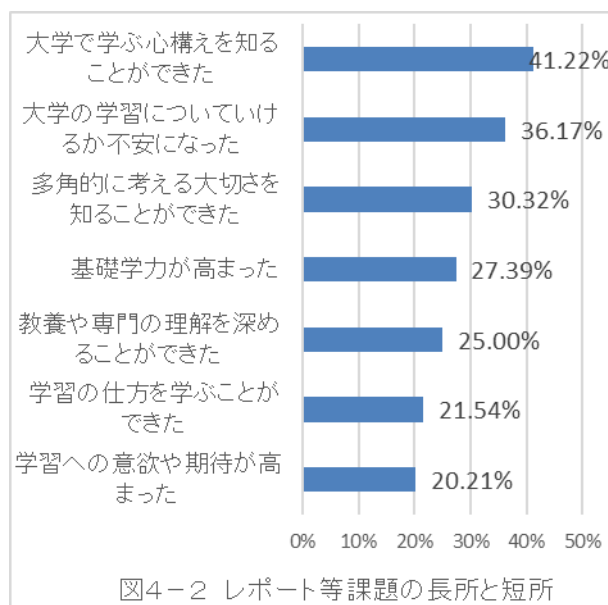
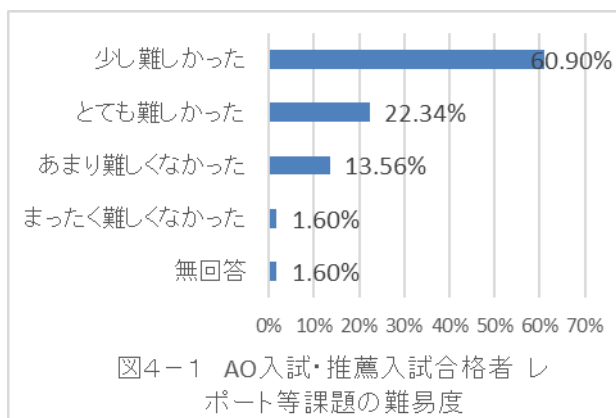


国公立大学の受験状況について図3-8に示す。



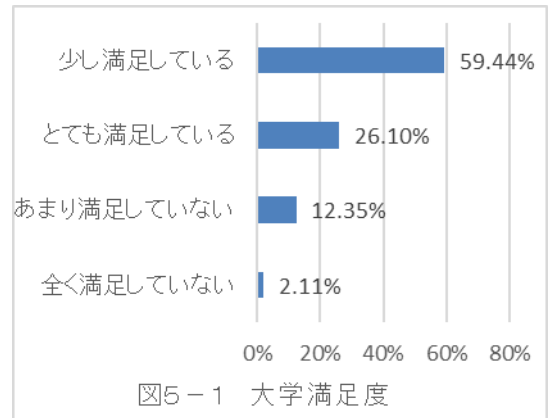
4. AO入試と推薦入試の合格者、入学前教育のレポート等の課題について

AO入試と推薦入試の合格者に対する入学前教育の難易度について図4-1に示す。また、対象者が感じる入学前教育の長所と短所について図4-2に示す。課題に対して難しさを感じている者が多く、課題に取り組むことで心構えや不安の形成といった入学に対する緊張感を抱くようになっていることが示された。

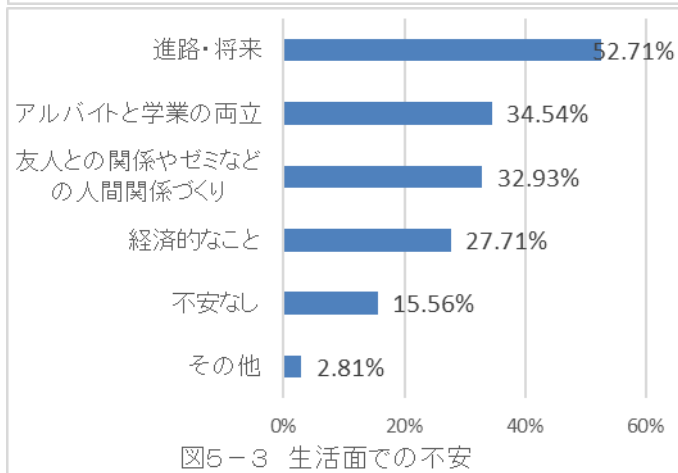
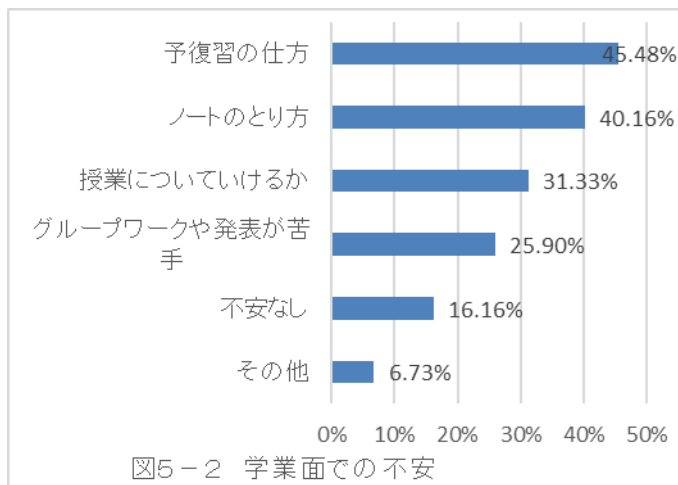


5. 入学後の生活について

入学後の大学生活への満足度を図5-1に示す。概ね満足している傾向がうかがえるが、2割弱は満足感を持っていない状態であることが示された。

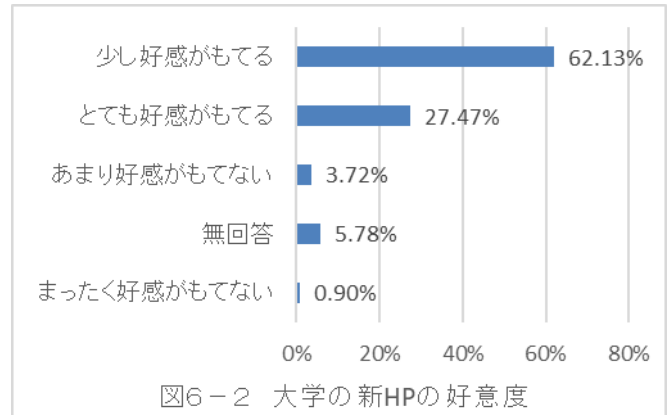
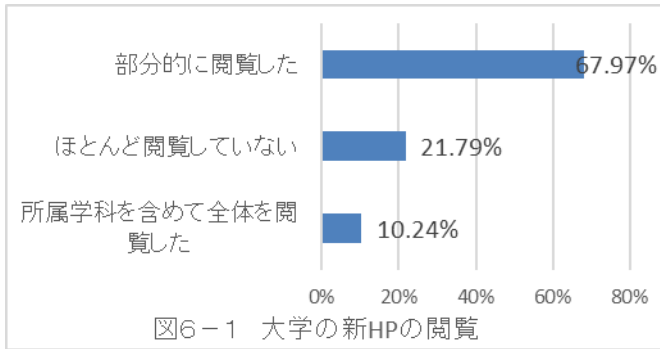


入学後に感じている学業面での不安と生活面での不安を図5-2と図5-3に示す。学習面では「予復習の仕方」、生活面では「進路・将来のこと」が最も多かった。

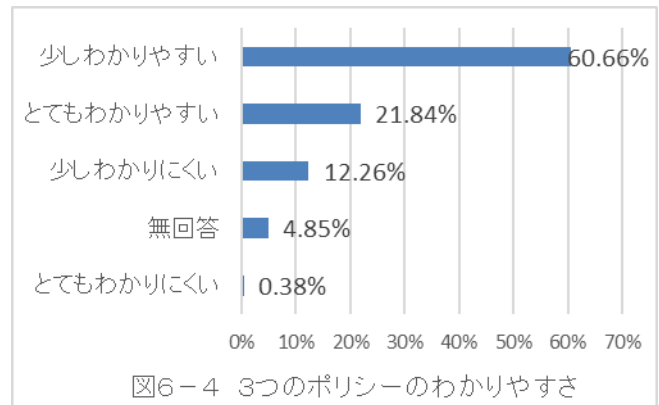
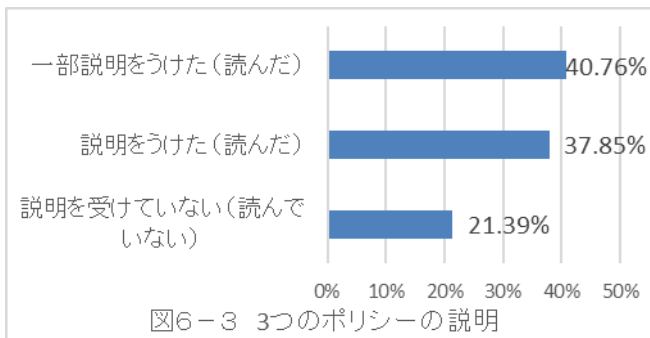


6. 大学の新HPと3つのポリシーについて

2017年度にリニューアルした大学HPについて、閲覧度と好意度を図6-1と図6-2にまとめた。部分的に閲覧している者が多かったが見てないという者も2割いることが明らかとなった。また、概ね好意的に捉えられていることも明らかとなった。

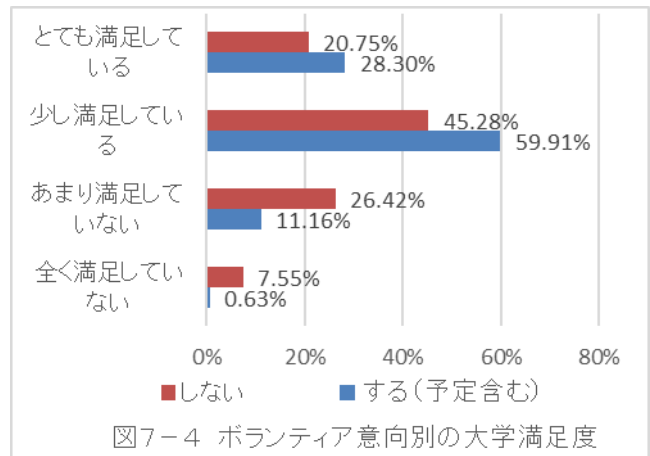
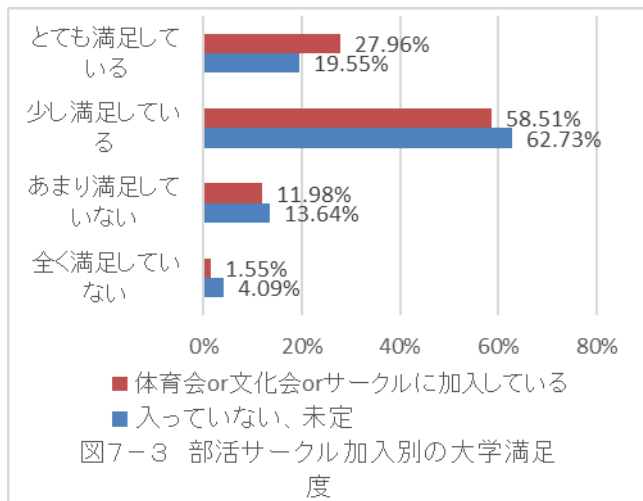
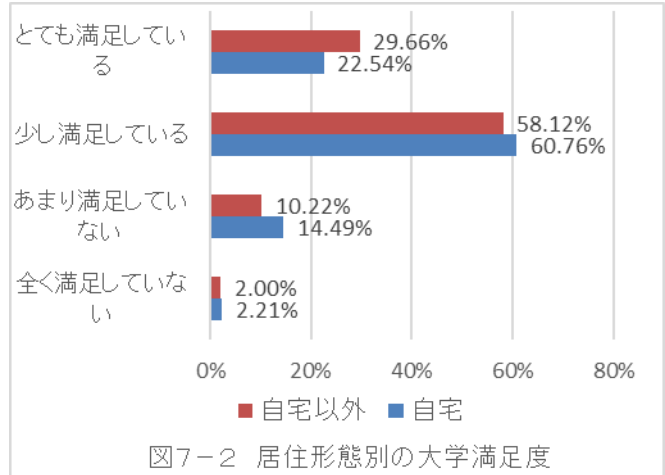
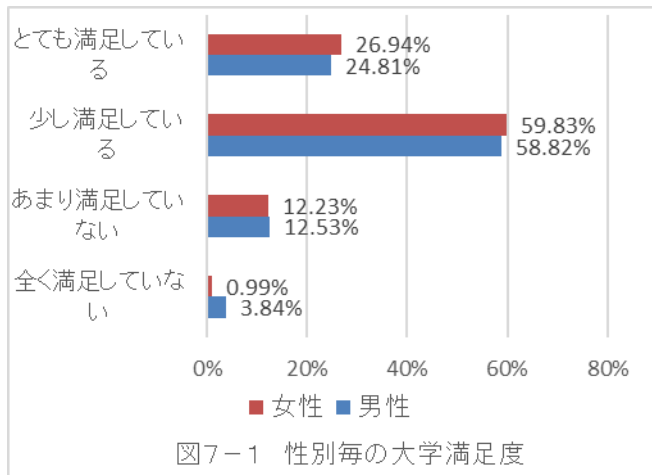


2017年度より見直しを行った学科の3つのポリシーについて、説明を受けたかどうかとわかりやすさについて図6-3、図6-4にまとめた。説明を受けていないもしくは読んでいない者が2割いることが明らかとなった。



Ⅲ. 大学生生活の満足度と基本的属性の関連

回答者の基本的属性(性別、居住形態、部活動・サークルへの参加、ボランティア意向、留学意向、アルバイト意向、奨学金の有無)と大学生活への満足度の関連について χ^2 検定を用いて検討した。統計的に有意な関連を示した項目について図7-1から図7-4にまとめた。性別では女性のほうが男性よりも満足感を示していた。居住形態では自宅から通う者の満足度が低いことが示された。部活サークルへの参加については、部活・サークルに所属していない者の満足度が低いことが示された。ボランティア意向では、ボランティアをする意向を持つ者の満足度が高いことが示された。



Ⅳ. 大学選びと性別の関連

「Ⅱ. 全体の傾向 2. オープンキャンパス」と「3. 本学の志望」で集計した各項目と性別の関連について χ^2 検定を用いて検討した。統計的に有意な関連を示した項目について図8-1から図8-8にまとめた。

女性のほうが男性よりもよりオープンキャンパスに参加し(図8-1)、「With You」「本学 HP」がオープンキャンパスへの参加のきっかけになっており(図8-2)、参加したことが受験への肯定的な影響を及ぼしていた(図8-3)ことが明らかとなった。また、女性のほうが入学前に「学生の1週間」「キャンパスの雰囲気」「学生の声」「支援」といった大学生生活の具体的な状況が分かるような情報を求めていた(図8-4)ことが明らかとなった。そして、女性のほうがより本学と入学した学科が第一志望であることが多かった(図8-5, 6)ものの、国公立を受験した者も男性よりも多かった(図8-8)ことが明らかとなった。

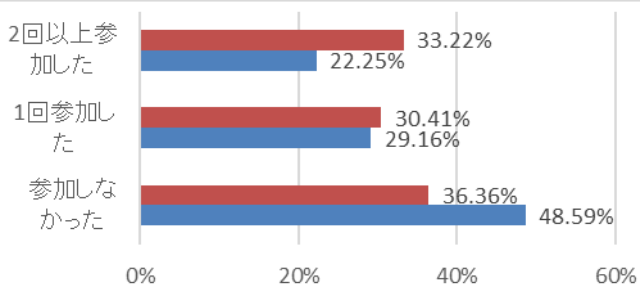


図8-1 性別毎のオープンキャンパスの参加 ■女 ■男

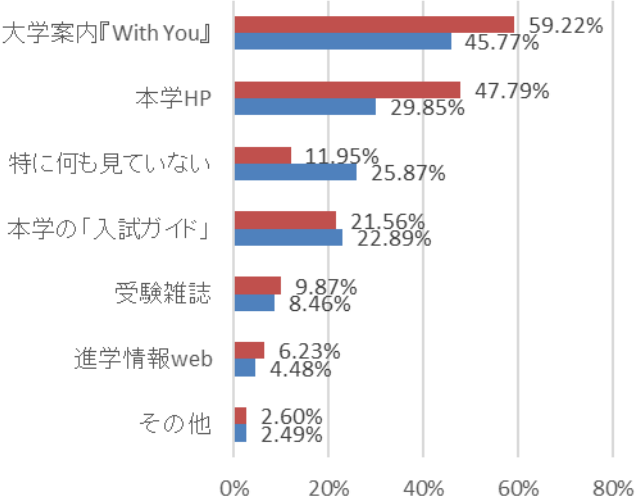


図8-2 性別毎のオープンキャンパス参加 ■女 ■男
きっかけとなったメディア

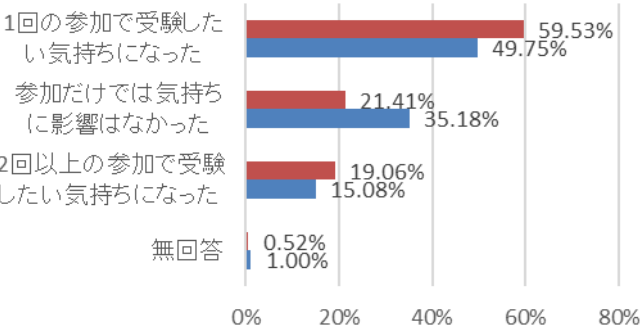
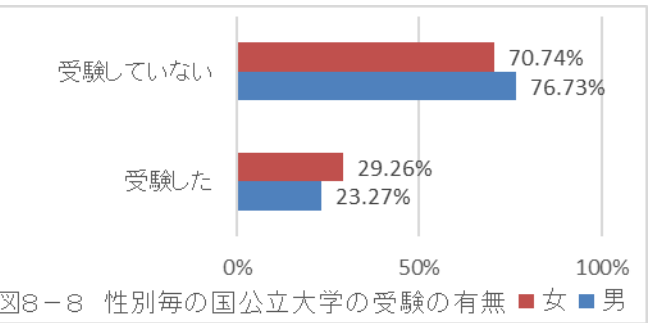
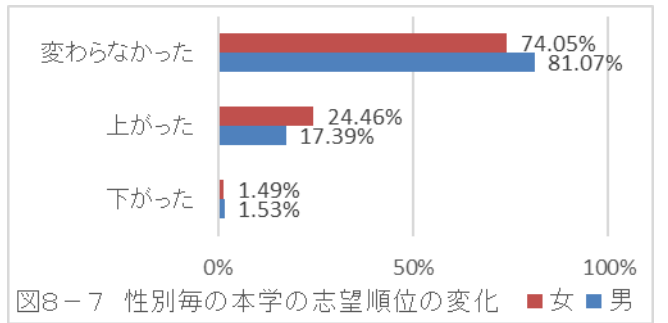
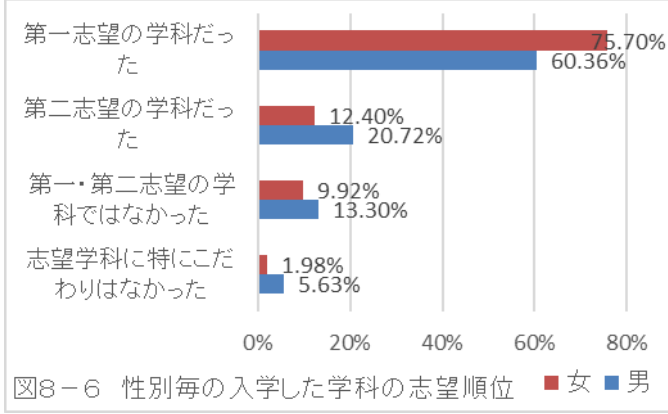
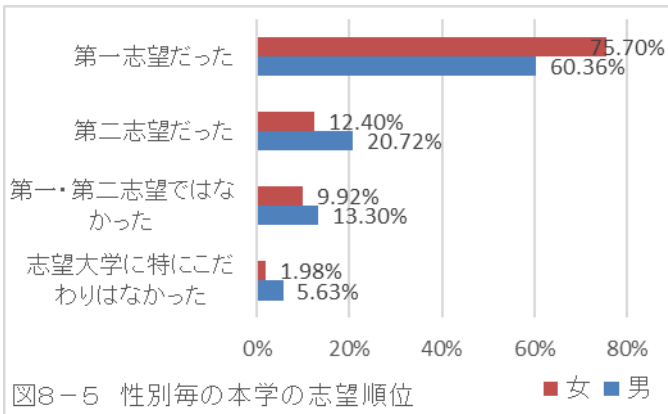
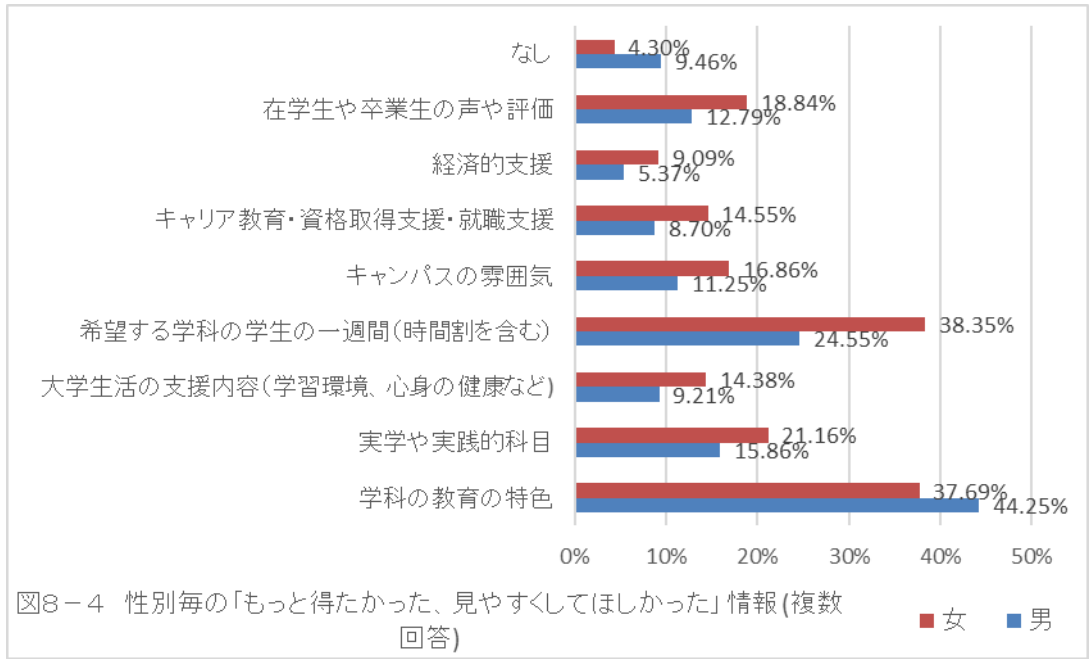


図8-3 性別毎のオープンキャンパスの受験
意欲への影響 ■女 ■男



V. 大学選びと入試形態の関連

「II. 全体の傾向 2. オープンキャンパス」と「3. 本学の志望」で集計した各項目と入試形態の関連について χ^2 検定を用いて検討した。統計的に有意な関連を示した項目について図9-1から図9-11にまとめた。

オープンキャンパスについては、一般入試とセンター試験関連入試で入学した者がよりオープンキャンパスに参加していない(図9-1)ことが明らかとなった。そしてオープンキャンパス不参加の理由の中で特に「参加したかったが余裕がなかった」を挙げる者が推薦入試に特に多かった(図9-2)ことが明らかとなった。参加のきっかけとなったメディアでは、特に「With You」をきっかけとしてあげるものは推薦入試とAO入

試での入学者が多いが、スポーツ・文化・芸術 AO 入試入学者は一般入試入学者と同程度である(図9-3)ことが示された。また、「特に何もみてない」と回答したもののセンター試験前期日程、一般入試 B 日程、スポーツ・文化・芸術 AO 入試に多い(図9-3)ことが明らかとなった。きっかけとなったイベントでは、一般入試とセンター試験関連入試で入学した者のほうが特にイベントには参加せず、入試相談会や本学教員による講義をうけた経験が少ない(図9-4)ことが明らかとなった。きっかけとなった人からの勧めでは、推薦 A 日程同窓生推薦入学者が特に「家族・親戚」からの勧めをあげる者が多く、スポーツ・文化・芸術 AO 入試入学者・推薦 A 日程専門課程推薦・推薦 B 日程・AO 入試入学者において「先生」をあげる者が多い(図9-5)ことが明らかとなった。オープンキャンパスの受験意欲への肯定的な影響は特に推薦入試(AB とも)入学者が高く感じている(図9-6)ことが明らかとなった。

本学を選ぶ際に「もっと情報を得たい・見やすくしてほしい」と感じた項目では、スポーツ・文化・芸術 AO 入試入学者・推薦 A 日程専門課程推薦・センター試験入試後期入学者が「特になし」を多く選んでおり、推薦入試(AB とも)入学者が「課外活動・ボランティア」を多く選んでいた(図9-7)。入学目的では、推薦 A 日程同窓生等推薦とセンター試験入試(前後期とも)が「興味・関心のあることを学ぶこと」を挙げる者が多く、「将来やりたいこと、なりたい仕事」は特に一般入試 C 日程・センター試験プラス入試・推薦 A 日程専門課程推薦に多いこと、推薦 A 日程専門課程推薦入学者はその反面で「自分を成長させること」をあげる者が少ない(図9-8)ことが示された。本学の志望順位では、一般入試とセンター試験利用入試で第二志望以下とするものが多く、特にセンター試験利用入試後期では特にその特徴が強い(図9-9)ことが示された。一方で、推薦入試(AB とも)とスポーツ・文化・芸術 AO 入試入学者では第一志望が最も多いものの「特にこだわりなし」という回答も多いことが明らかとなった(図9-9)。入学した学科の志望では、「第一志望」は推薦入試・AO 入試入学者に特に多く、一般入試・センター試験利用入試では「第二志望以下」が多くなる(図9-10)ことが明らかとなった。最後に、国公立大学の受験は一般入試・センター試験利用入試入学者が多い(図9-11)ことが明らかとなった。

